

労働者に 国境はない!!

7.30 国際連帯集会

「戦争・民営化」と闘う労働運動を甦らせよう
国境・国籍・民族をこえた

「新しいインターナショナル」をつくろう!

※「インターナショナル」…国際的な世界単一の労働者政党

とき 7月30日(日) 午後1時半～(12時半開場)

ところ 大田区民センター・音楽ホール (東京都大田区新蒲田 1-18-23)



主催: 「国際連帯共同行動研究所」 設立準備委員会

【連絡先】 鈴木たつお事務所 (東京都台東区台東 1-3-1 フドウパピルスハイツ 2F)

TEL 03-5817-4830 FAX 03-5817-4857 info@suzutatsu.main.jp



「万国の労働者、団結せよ！」——マルクスとエンゲルスが『共産党宣言』で発したこの叫びが、21世紀の現代にも生きています。資本主義は終わりました。団結した労働者の力で資本の支配を終わらせ、戦争も抑圧もない社会の建設に踏み出そう。

7月30日、私たちは国際連帯集会を開催し、「国際連帯共同行動研究所」を設立します。動労千葉(国鉄千葉動力車労働組合)と韓国・民主労総(全国民主労働組合総連盟)ソウル地域本部を中心に発展してきた国際的団結を、「新しいインターナショナル」建設へ前進させる挑戦です。

6月30日、民主労総は「最低賃金1万ウォン」などを掲げて、初の「非正規職ゼネスト」をうち抜きました。パククネを倒したうねりは革命にむかっています。ここに、「社会的大妥協」を掲げ、資本主義・新自由主義社会の根本的変革の道を拒否するムンジェイン政権をのりこえる展望が示されています。これが、切迫する朝鮮半島での戦争をとめる道です。

7月2日の東京都議選で、日本の労働者人民は自民党・安倍政権に鉄槌を下しました。アメリカ労働者階級はトランプ打倒闘争を不屈に継続しています。



フランス労働者階級も、新自由主義者・マクロンの大統領就任翌日に巨万のデモに決起しました。7月7～8日、ドイツ・ハンブルクでのG20サミットにも10万人の大反撃が叩きつけられました。

今こそ、帝国主義とスターリン主義を打倒する「新しいインターナショナル」をつくろう。労働者は、民族・国籍・国境をこえた単一の存在です。国際的に団結をした力が戦争を阻み、世界史の新しい扉を開きます。日々職場で闘われる労働運動と一体で、世界労働者階級の共同行動の実現が急務です。

その準備として、私たちは次の方策に着手します。①世界の労働者階級の戦争反対と社会変革の闘いの情報を収集し『月報』を発行、②パリコミューン・ロシア革命以来の国際連帯闘争の研究・発掘とその成果の交換、③現実の国際階級闘争の経験の人民的交流、④情勢に対応した国際共同行動の提案。

資本主義を倒す国際的な労働者のうねりをつくろう！ぜひ7.30国際連帯集会に集まってください！

【オモテ上・ウラ右上】6月30日、韓国・民主労総は非正規職ゼネストに立った【オモテ下】昨年11月6日、日米韓の5800人が朝鮮戦争阻止と労働法制大改悪粉碎を宣言(日比谷野音)【ウラ左下】5月1日、米ILWUローカル10(国際港湾倉庫労組第10支部)が「警察のテロを止めよ! 移民弾圧反対! 戦争反対!」を掲げサンフランシスコの港湾を封鎖【ウラ上】7月のG20サミット(独・ハンブルク)への抗議デモ。「資本主義は終わった」の横断幕